



フレッシュファーム神代設立20周年



記念式典 (8ページに記事掲載)

- 2ページ 年頭のごあいさつ
- 4ページ つながる!雲南チャレンジ2017
- 6ページ うんなん日和
- 10ページ 雲南病院だより
- 14ページ わが家のHOPE
- 17ページ 市役所からのお知らせ
- 28ページ イベント情報 ほか



市内高校生が肯定派と否定派に分かれて議論する第3回UNNANディベート選手権 (11月18日開催)

年頭のごあいさつ



雲南市長 速水 雄一

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、ご家族おそろいで新しい年をお迎えになられましたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、米国では新しい大統領の就任に伴い大きく外交戦略が変化する中、北朝鮮のミサイルの発射などにより、我が国が危険にさらされるなど大きな変化があらわれています。一方、我が国は経済の動向により、人口の都市偏重の傾向は加速しており、地方自治体がしっかりと市民生活を守っていくことが一層重要になってきています。

こうした中、昨年11月20日に東京都内で開催された地方自治法施行70周年記念式典において、自らの創意工夫により優れた施策を実施し地方自治の充実発展に寄与した市町村として、雲南市が総務大臣表彰を受賞いたしました。これは、雲南市誕生以来、市民の皆様が取り組みを進められてきた「課題先進地」から「課題解決先進地」へのチャレンジが高く評価されたものです。

具体的には、市民の皆様の積極的な参画により、質の高い教育の提供による将来を担う人材の育成、課題解決人材の育成による若者チャレンジ、地域自主組織の活動基盤強化による住民主体の地域づくり、この三つのチャレンジが連携・協調し、刺激し合いさまざまな取り組みが進んでいます。

新たな年を迎えるにあたり、こうした歩みを一層強め、これを土台に、若者チャレンジの推進と人材誘致を進め、「起

業」「創業」の動きを更に強めるとともに、地域と一体となつたUターン施策や市内企業への人材の誘致を進めることに

より、市内の「働く場」の育成をより強力に進めてまいります。また、長期的な視点からは、本市の人材育成事業をしっかりと継続・充実させていくため、新たな奨学金制度の検討や高校の魅力化の一層の推進を図る所存であります。

特に、本年は、皆様のご協力により進めてまいりました雲南市立病院改築事業や健康づくり拠点施設整備事業が順調に進捗し、オープンの予定です。市立病院の新棟の開院を3月22日に予定しており、これに先立ち、3月3日に竣工記念式典、翌3月4日には市民の皆様にご覧いただく見学会を実施する予定にしております。これを契点として、「健康長寿・生涯現役」に向け、一層力強く取り組みを進めてまいります。

さて、昨年舞い降りた国の特別天然記念物コウノトリは、そのまま雲南市に定着してくれています。本年も、是非とも営巣し、産卵・子育てにつながることを期待するところです。地元の皆様、関係者の皆様のご尽力に改めて感謝しお礼申し上げますとともに、コウノトリが選んでくれたこの地が一層輝くよう、皆様と地方創生に邁進いたします。今後も「課題解決先進地」をめざし、更に一歩ずつ力強くまちづくりを進めてまいりますので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年、雲南市が大きく飛躍し、市民の皆様がご健勝で、幸多からんことを祈念して年頭のごあいさついたします。

年頭のごあいさつ



雲南市議会 議長 藤原 信宏

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、清々しく希望に満ちた新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年の我が国は、「米国第一」を掲げるトランプ大統領就任による米国の大きな政策転換や、世界各地で引き起こされるテロ事件、度重なる北朝鮮のミサイル発射や核実験の強行など、戸惑い脅かされ、先行き不安な激動の一年でありました。国内にあつては、九州北部豪雨や相次ぐ台風により多くの方々が被災されました。改めて心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興を望むと同時に、本市における不測の大災害への対応と備えの充実強化を痛感しております。

そうした中であつて、藤井聡太・史上最年少棋士の初戦から29連勝記録や、卓球の張本智和選手の世界ツアー最年少優勝など、十代半ばの若者の目を見張る活躍ぶりが清々しく、日本全体を明るく元気にしてくれました。

雲南市においては、コウノトリの誕生、豪華寝台列車「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の立寄り観光、映画「たたら侍」の公開など、全国的に話題となる出来事が続いた年となりました。

明けて平成30年、国においては、少子高齢化による経済・産業の構造的な問題を克服するために、働き方改革による成長と分配の好循環の実現、人材への投資を通じた生産性向上の取り組みを進めようとしております。

雲南市においては、「第2次総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、引き続き、「安全・安心」「活力と賑わい」「健康長寿・生涯現役」のまちづくりを推進していくこととしております。

本年は、市立病院の新棟竣工、健康づくり拠点施設や掛合総合センター・交流センター等の開設が予定され、統合給食センターや国民宿舎・清嵐荘、永井隆記念館等の懸案の施設整備が本格化したします。これらの取り組みが「人口の社会増への挑戦」をめざすまちづくりの基盤となるよう、期待するものであります。

また、議会にあつては、地方分権の進展に伴って自治体の自己決定の範囲が拡大し、役割が益々重要になってきております。行政への監視・チェック機能をしっかりと果たすと共に、多様化する市民の皆様のご意見を把握し、的確に施策に反映していくことで、市勢発展と福祉の向上に努める所存であります。今後も「開かれた、市民に信頼される議会」をめざして研鑽努力いたしますので、皆様の一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年、戌年は「誠を尽くせば万事成就する年」と言われます。雲南市の飛躍を願い、皆様にとつてご健勝で実り多い年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

活動紹介ブース

活動紹介ブースでは、大東高校、三刀屋高校、幸雲南塾（大人版）、子育て中の方を中心に結成されたUNNAN子育て応援会議がブースを出し、活動発表やパネル展示、参加者の皆さんとの意見交換を行いました。また、マーケットも行われ、特製弁当や物販、コーヒーやカレーなどの販売が行われたほか、屋外では子どもたちに自然体験の場を提供する「冒険型自然保育あそベンチャー」も行われ、にぎやかな1日となりました。

高校ブース



大東高校の活動発表（地域課題研究／地域文化部）



産後ケアの取り組みについての発表



三刀屋高校の活動発表（地域産業研究）

幸雲南塾
（大人版）
ブース



子どものアレルギー対応食のプロデュースの取り組みについての発表

UNNAN子育て
応援会議ブース



子育て世代の集まりの場づくりの活動発表



買い物リハビリサービスの取り組みについての発表

マーケット

- ・Café Someday
- ・ねぎぼうず
- ・つちのと舎
- ・八日市地域づくりの会
- ・西日登振興会
- ・民谷地区振興協議会



冒険型自然保育
あそベンチャー



若者チャレンジ

地域の未来に必要な人と仕事をつくる！

つながる!!

子どもチャレンジ

ふるさとの愛情と未来への希望を育む！

大人チャレンジ

住民による住民のための地域づくり

つながる!!
雲南です。

つながる!! 雲南チャレンジ2017

子ども×若者×大人、チャレンジの成果を発表

11月12日(日)、子ども、若者、大人が学び合い、語り合う場として「つながる！雲南チャレンジ2017」を加茂文化ホールラメールで開催しました。

この催しは、それぞれの実践事例を世代を超えて学び合いながら、地域の課題解決へのチャレンジをさらに進めていくことを目的としています。当日は、地域課題にチャレンジしている子どもから大人までの市民や関係者ら約250人が参加し、取組事例の実践発表や活動紹介ブースでの意見交換などを行いました。

実践発表では、小中高生たちによる地域学習や課題研究の成果発表、雲南市出身大学生による市内でのフィールドワークやインターンシップの活動報告、NPO法人おっちラボからは若手人材を育成する「幸雲南塾(大人版)」の取り組み紹介がありました。地域自主組織からは、子育て支援や地域の未来計画の策定、地域でのささえあい活動など5地区から活動事例の発表がありました。

ゲストコメンターのアイアイエイチオーイー「人と組織と地球のための国際研究所」代表の川北秀人さんからは、若者チャレンジについて「地域にほしいのは、仕事を探している人ではなく、仕事がつくれる人。



アドバイスをする川北さん

高校との連携をすすめ、しっかり準備をしていくことが必要」、また、地域自主組織について「担い手の確保が課題となる中、福祉と防災は一体で取り組むなど体制の見直しが必要」とアドバイスをいただきました。



大東小学校6年生の実践発表



雲南市出身大学生の実践発表



西日登振興会の実践発表

つながる!!

地域でチャレンジする子ども、若者、大人が実践発表を行いました。発表者と内容は次のとおりです。

子どもチャレンジ

- 大東小学校6年生**
大東小発 ふるさとの宝を守り次につなげよう!
- 掛合中学校3年生**
魅力発信プログラム-COME ON 掛合-
- 三刀屋高校**
地域産業研究を通じて学んだこと
- 中高生の！幸雲南塾**
高校生のマイプロジェクト

若者チャレンジ

- NPO法人おっちラボ**
若者のチャレンジが溢れる魅力的なまちへ
- 雲南市出身 大学生**
大学生×地域！
チャレンジに優しいまち雲南で学んだこと

大人チャレンジ

- 海潮地区振興会**
子育て支援
- 大東地区自治振興協議会**
『大東の明日を考えるまちづくり会議』の取り組み
- 躍動と安らぎの里づくり鍋山**
躍動鍋山ささえあい事業の取り組み
- 西日登振興会**
伝統行事を活かした地域づくり
～高津公園まつり～
- 吉田地区振興協議会**
高齢者などの見守りに関する協定

11/15
水

主要地方道玉湯吾妻山線 川井2工区道路改良工事起工式

島根県が施工する主要地方道玉湯吾妻山線川井2工区道路改良工事（大東町川井地内）の起工式が阿用地区振興協議会（会長永瀬康典さん）により開催されました。



▲あいさつをする永瀬会長

本路線は奥出雲町と雲南市、松江市を結ぶ主要幹線で、川井2工区はヘアピン

カーブのうえに急勾配であることから、はみ出し事故の多発や大型車の通行の難所でした。地元阿用地区のほか久野地区や奥出雲町からも早期改良が望まれていました。



▲ヘアピンカーブ

工事完成は平成30年代半ばを予定しており、完成まで長い期間が掛かりますが交通安全と定住促進に向け、県と市は連携して着実に取り組みを進めています。

うんなん日和

まちの話題を
紹介します



11/4
土

スペシャルオリンピックス日本・島根 『陸上競技練習会』&『コーチ研修会』

知的障がいがある人の『陸上競技練習会』&『コーチ研修会』がスペシャルオリンピックス日本・島根の主催により大東公園体育館で開催されました。



▲参加者の集合写真

この教室は、アスリートへの陸上指導とより安全に、楽しく指導するための

練習方法や指導技術を学ぶために開催され、アスリートやファミリーなど約30人が参加しました。

講師に益田市出身で現在青森大学の陸上競技部監督であり、パラリンピック出場をめざす幅跳び選手を指導されている木原博さんを招き、指導・研修を受けました。

アスリートは、木原さんからスタート時の手の振り方などをテニスボールを使って分かりやすく指導していただきました。



11/19
日

高齢者の健康づくりを支援する 団体交流・情報交換会

市では、「雲南市健康づくり推進協議会」を設置し、地域での健康づくりを推進する関係機関・団体等と官民一体となって健康づくりを推進しています。また、年齢に応じた取り組みを進めるため「すくすく部会（親子の健康づくり）」、「きらきら部会（青壮年期の健康づくり）」、「はつらつ部会（高齢者の健康づくり）」の3つの部会を置き活動をしています。

その部会の一つである「はつらつ部会」に参画する「高齢者の健康づくり」を支援する地域運動指導員連絡協議会・食生活改善推進協議会・スポーツ推進委員協議会の3団体が、それぞれの団体のメンバーがお互いの取り組みを共有するとともに、より連携を図れるよう、交流・情報交換会を三刀屋文化体育館アスパルで初開催しました。

本会には、各団体から約60人が参加し、出雲弁ラジオ体操、太極拳、だし汁、野菜たっぷり料理などの試食、吹き矢などそれぞれの活動紹介・体験をして意見交換を行い、今後の連携につなげました。



▲3団体での集合写真



11/10
金

島根県交通安全県民大会

第53回島根県交通安全県民大会を加茂文化ホールラメールで開催し、県内の交通安全関係者ら約700人が参加しました。

式典では、島根県知事感謝状の授与や中国管区警察局長・中国五県交通安全協会会長連名表彰等を行い、受賞者を代表して山根和夫さん（三刀屋町）が「この度の受賞を励みとして、今後さらに交通安全活動に努め、県内各地に交通安全の輪を広げていきたい。そして、悲惨な交通事故を1件でも減らせるように努力していきたい」と決意を述べられました。

記念講演では、NPO法人高齢者安全運転支援研究

所 理事長 岩越和紀さんに「高齢者ドライバーの交通事故について」と題してお話をいただきました。

また、協賛事業として雲南あいあい劇団による「防犯・交通安全寸劇」や交通安全ポスターコンクール入選作品の展示も行われました。



▲知事感謝状を贈られる山根さん

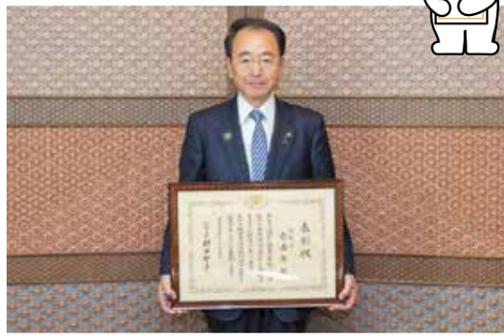


11/20
月

雲南市が「地方自治法施行70周年 記念総務大臣表彰」を受賞

地方自治法施行70周年を記念して行われた地方自治法施行70周年記念式典において、雲南市は自らの創意工夫により優れた施策を実施し、地方自治の充実発展に寄与した市町村として、全国1,718自治体の中から選ばれた124自治体の一つとして「総務大臣表彰」を受賞しました。

これは雲南市が抱える課題の解決に向け、市民の皆さんとともに作り上げてきたさまざまな取り組みが高く評価されたもので、式典は天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、東京都内で開催されました。



▲表彰状を持つ速水市長



11/11
土

教育の魅力化を考え議論する 雲南市教育フェスタ 2017

さまざまな立場の方々に雲南市の教育活動を知っていただくこと、および教育の魅力化について幅広くご意見をいただくことを目的に「雲南市教育フェスタ2017」を雲南市役所で開催しました。



▲雲南市の教育について意見を交わす参加者

市内教職員（幼・小・中・高）、PTA（保護者）、雲南市教育魅力化推進会議委員、県内外の教育関係者、約100人が一堂

に会し、雲南市の教育について学び、議論しました。

文部科学省教育課程課の上遠野奈保子係長から「新しい学習指導要領の考え方」と題して講演いただき、雲南市教育魅力化推進会議の土江博昭会長から現在検討中の「第一次提言案」について提言いただきました。

また、参加者は「『夢』発見プログラムの今後の在り方」、「高校の魅力化を考える」、「不登校支援の成果と課題」、「子どもの貧困対策を考える」4つのテーマに分かれ、さまざまな意見を交わしました。



11/28
火

雲南市健康づくり講演会



「こころとからだの健康づくり」をテーマに雲南市健康づくり講演会を木次経済文化会館チェリヴァホール



▲堀さんの講演の様子

で開催し、約80人が参加しました。講演会では、医学博士・歯学博士・薬学博士で雲南市特別名誉顧問の堀 泰典さんに「睡眠と健康」と題して、睡眠の効果とリズム、睡眠に関わるホルモン、メラトニンの作用のほか、脳脊髄液循環を良好にすると眠りやすい、真っ暗ににして寝る方が良い眠りができる等実践を交え分かりやすく楽しいお話をしていただきました。

12/3
日

雲南市民歳末余芸大会



▲ダンシングエンジェルス（吉田町）によるバラエティダンス

第11回社会福祉チャリティー雲南市民歳末余芸大会を三刀屋文化体育館アスパルで開催しました。市内の団体、個人など16組が出演し、踊りや歌などを披露したほか、お楽しみ抽選会もあり、1,300人の観客を楽しませました。なお、この大会の収益金は、市内の社会福祉事業に活用されます。

雲南市はこれまでもアメリカのリッチモンド市、韓国の清道郡との交流事業を進めています。台湾も含め広がりのある文化・経済交流事業へと昇華させなければなりません。そうした交流の見える化が、国内の都市から地方への人の移動の流れを速くすることにつながる効果をもたらすことにもなると確信しています。



▲新米フェアで雲南市産米を販売する速水市長（右）

昨年11月23日から3日間、台湾を訪問しました。目的は「台北新米フェア」への参加と台湾との観光交流の実現で、私自身は4回目の訪問となりました。フェアではこれまでも雲南市から輸出しているプレミアムつや姫「たたら燻米」と「宇山米」の販売促進イベントを行い、台湾のお客様に安全・安心で美味しいと大変な好評をいただきました。今後、台湾をはじめとした海外への農産物などの販売をさらに積極的に進める必要があります。また、今回は雲南地域全体と台湾との観光客の交流促進のため、台湾観光局や旅行業者を訪問しました。鳥根県への海外からの観光客のうち、台湾から最も多い（平成28年観光動態調査 宿泊1万4533人 23・6%）ことから、雲南地域ならではの食・自然・歴史・ひとの幸の魅力を売り込み、人的交流・観光交流をしっかりと進めなければなりません。こうした交流に加えて、三刀屋高校が台湾の高校との交流を企画しておられることから、相手先として新都市内の市立高校を訪問しました。訪問先の高校は1学年600人、生徒総数1800人の大規模校で、学生は標準外国語として英語、第2・第3外国語の日本語、韓国語を学んでいました。また、全クラスごとに学期末の最成績優秀者が写真入りで張り出され、個人同士はもとよりクラスごとの徹底した成績の競い合いがなされており、民をあげての国づくりへの強い息吹を目の当たりにしました。

市長コラム

広がりのある交流事業へ
そして都市から地方への人の流れを

11/22
水

みんなで作ろう！認知症になっても安心して暮らせる雲南市 認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク模擬訓練



行方不明になった認知症の方をいち早く発見するための「認知症高齢者等徘徊SOSネットワークシステム」模擬訓練を木次町下熊谷地区で行いました。訓練では、ネットワークの協力会員にメールやファクスで行方不明者の情報を連絡し、会員から情報を集めたり、音声告知放送でも情報提供を呼びかけて、早期発見につなげる情報伝達の流れを確認しました。

認知症で徘徊している人を見かけたら…

認知症の方は、強い不安を感じています。急に近づいたり、大声で声をかけたり、急がせたりすると、本人を驚かせてしまいます。まずは優しく「こんにちは」とあいさつをして、顔見知りの人であれば、お茶でも飲んで休憩するよう勧め、その間にご家族に連絡をしてください。見知らない人であれば、あいさつをした後で「お出かけですか?」「何かお手伝いをしましょうか?」など声をかけ、様子がおかしいと思ったら警察や地域包括支援センターへ相談ください。

認知症の方を介護しているご家族にも地域の温かい支援を…

24時間介護をされているご家族の苦労は並大抵ではありません。介護者の方が1人で頑張り過ぎないように、地域の皆さんがやさしく見守ってくださることで、認知症の方もご家族も住みなれた地域で1日でも長く安心して暮らすことができます。家族が認知症になった場合に、気軽に近所に相談して協力を求められるような地域をみんなで一緒に作っていきましょう。



▲模擬訓練の様子

11/25
土

フレッシュファーム神代 設立20周年記念式典



▲あいさつをする奥田代表理事

農事組合法人フレッシュファーム神代の設立20周年記念式典が三刀屋町の中野交流センターで行われ、関係者ら約70人が参加しました。フレッシュファーム神代は、平成10年1月に鳥根県では7番目、雲南地

域では初めての特定農業法人として発足され、これまで水稻など農作物栽培に特化することなく、農産物を加工品に活用し、多角的な農業経営に取り組んで来られました。式典で奥田 武代表理事は「設立20年という節目の年を迎え、これまで培ってきた経験や実績をもとに、事業運営に誇りと責任をもって取り組んでいきたい」とあいさつをされました。

11/25
土

うんなん歌謡祭



木次線全線開通80周年記念事業の一環として「うんなん歌謡祭」を木次経済文化会館チェリヴァホールで開催しました。

本歌謡祭には、演歌歌手の永井みゆきさん、清水博正さん、野村美菜さんが出演し、雲南市出身の作詞家さとうしろうさんが作詞した「雨の木次線」「哀愁の奥出雲」「日笠駅」「恋ざくら」など木次線と沿線風景が登場するご当地ソングで昼、夕の2回公演で来場した約800人を楽しませました。



▲出演した野村さん（左）、永井さん（中央）、清水さん（右）

新任医師
紹介

いのうえ けいた
井上 圭太 泌尿器科

■資格：・泌尿器科専門医

12月より赴任しました。雲南地域の医療に貢献できるよう
精一杯務めますので、よろしくお願いいたします。



病院建設の状況について

新本館棟および接続棟の工事が、平成29年12月に終了しました。

新本館棟は5階建てで、1階は救急・外来、放射線、検査、総合受付、2階は病棟、透析、薬剤、外来、3階・4階は病棟、5階は機械室の構成となっています。

新本館棟と既設の南棟・東棟をつなぐ接続棟は3階建てで、1階は廊下以外に時間外出入口と各種サービス諸室、2階・3階は廊下のみ構成となっています。

1月下旬からは、新しく購入する医療機器、備品などの設置を始め、3月22日（木）に予定している新本館棟開院に向けた準備を進めます。

新本館棟



エントランスホール（女関）



救急処置室



診察待合室



診察室



透析センター



病棟スタッフステーション



4床室



1床室



病棟ダイルーム

接続棟



接続棟外観



時間外出入口



ギャラリーストリート



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、ご家族お揃いで新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

まず、新本館棟建設であります。立派に完成をいたしました。1月中旬には引き渡しを受けることとなっております。基本構想から足掛け6年を費やし、新本館棟の竣工を目前にした今、夢から現実なものとして感慨深く、苦勞を共にしてくれた職員には感謝であります。また、ここに至るまでには住民の皆様、議会、行政の皆様のご理解とご支援ご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

なお、今後の予定であります。3月3日に竣工式を執り行い、3月4日に見学会を開催し、3月22日に新本館棟の開院を迎えさせていただきます。その後も平成31年9月のグランドオープンに向け引き続きご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。



病院事業管理者

松 井 譲

さて、病院事業管理者に就任したときの方針として、急性期、回復期、療養など複数の機能を持つ病院形態の維持、人材の確保、健全経営の強化、そしてハード面の充実として新本館の早期実現を目標に掲げておりましたが、現在常勤医師も24名体制となり、経営も5期連続の黒字により内部留保資金の蓄積で健全経営の基盤も図れ、一番の大きな課題であった新本館棟の完成と順調に目標に近づいてきたところであります。これも職員スタッフが力強く支えてくれたお蔭であります。ただ一方では慢心することなく立派な建物に中身もよくなったといわれるような病院をめざして職員一同住民の皆様のご期待に応えるよう体制を整えながら、雲南地域の中核病院としての役割が果たせるよう努力してまいり所存であります。

最後に、平成30年も皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

雲南病院だより



院長

大 谷

順

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様方には穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。先ずは、お陰様で旧年も順調な病院運営ができましたことに深くお礼と感謝を申し上げます。また、本年は3月より新病院での診療がはじまります。新しい療養環境で、より良質な医療を提供することは私どもの悲願でございます。市民の皆様には「建物だけでなく、診療内容も良くなった」と感じていただけたら、より一層の質向上に努めてまいります。さて、本年は6年に一度の医療、介護同時の診療報酬改定が行われる年です。少しでも私たち地域にとって有利な改定となるよう祈るような気持ちで情報を集め、新年度に備えてまいります。当然ながら診療報酬の財源は国家予算の一部であり、少子高齢化により働き手が減っていること、医療費が今以上にかさむこと、加えて昨今の安全保障に対する財政投入の重要性が増していることを考えると、厳しい改定となることは必至です。これからは、医療を受ける側も提供する側もそれぞれ厳しい現実が待ち受けているのではと危惧しています。例を挙げる

と、利用者にとっては自己負担の増加、介護認定や施設入所基準の厳格化、サービスの質低下が挙げられます。一方、医療提供側も、いくらサービスを提供したくても診療単価を下げられてしまったら原資が回収できないというジレンマに陥ってしまいます。確かにどう見ても国の事情は厳しく、雪雲が晴れるような解決策は見いだせそうにありませんが、病院としては「地域ケア科」の機能をより充実させて、在宅で頑張りたいと考えています。また市民の皆様には、これまでより多くの自助努力を行っていただければと願っています。ヘルス・リテラシー (Health literacy) という言葉があります。個人が自分の健康に対して関心を持ち、必要な情報やサービスを調べ利用して健康増進を図っていく能力のことです。検診受診率が、他地域に比べて格段に低い当地には耳の痛い言葉です。病院としても健康情報をお知らせいたしますが、今年は市民各人がヘルス・リテラシーをより一層高めていただき、厳しい環境の中でも生き生きと元気に過ごしていただけてますことを祈念いたしました。新年のごあいさつとさせていただきます。

院内サロン「ふれ愛」開設5周年インタビュー



平成24年4月13日、当院に院内サロン「ふれ愛」が開設されました。院内サロンとは、病気についての不安を抱える患者さん、ご家族の交流の場であり、情報交換や学習を行うことを目的としています。参加費は必要なく、どなたでも自由に参加することができます。今回は、開設5周年を無事終えた院内サロン「ふれ愛」の様子について、当初から世話人として関わっている小林貴美子さんにお話を伺いました。

なぜ、サロンを始めようと思われたのですか？

平成15年、私自身ががんを患いました。私は島根医科大学附属病院（当時）に入院したのですが、退院後、患者が集まってお食事会をする機会がありました。話の中に「患者同士が集まっておしゃべりする場所があると良いね」という意見があり、サロンを始めようと思いました。

院内サロン「ふれ愛」を立ち上げようと思ったきっかけは何ですか？

平成20年に雲南保健所に地域サロンとして「陽だまり」を立ち上げるときに雲南病院の看護師の方から、患者さんからも「サロンがあると良いな」と声が出ているとお聞きしました。しかし、すぐには開設することができず、平成24年に「ふれ愛」を開設することができました。

どういったことを「ふれ愛」では行っているのですか？

現在、島根県内には25カ所にサロンがありますが、各サロンともいろいろです。「ふれ愛」は患者同士がお茶を飲みながらおしゃべりをしたり、近況報告などしたりします。時には悩みなどの相談に乗ることもあります。

「ふれ愛」の良いところはなんですか？

「ふれ愛」では健康管理センターの看護師、保健師、ソーシャルワーカーだけでなく、医師や薬剤師、栄養士が、サロンに顔を出してくださいます。入院患者さんがいるときなど栄養士に食事の相談をしたりしています。病院全体でサロンを支えていただいていると感じています。

入院患者さんだけでなく、通院患者さん、経過観察の患者さん、仕事を始めた患者さんも仕事帰りに寄ってくださいます。「ふれ愛」でお茶とおしゃべりの時間を楽しんでいただけたら嬉しいです。

院内サロンふれ愛に対する思いを聞かせてください。

サロンを立ち上げたときに一年間通ってくれた患者さんがいらっしゃいました。入退院を繰り返しながらも、お話しに来てくださいましたが、残念ながらお亡くなりになりました。がんの終末期で心身ともにつらい中、座ることも苦しく、点滴台とともに訪れ、ソファに横になりながら、「ここで皆とお話をすることで、心が楽になる。元気になれる気がします」と言っておられました。5周年を終えた今、改めてそのときの気持ちを大切に、患者さんに寄り添っていきたいと思っています。

第2、第4金曜日の午後13時半から行われている院内サロン「ふれ愛」。皆さんも歓談などにぜひ一度、いらしてみたいはいかがでしょうか。



1. 2. 3月の開催日
(毎月第2・第4金曜日)

1月 12日(金)・26日(金)
2月 9日(金)・23日(金)
3月 9日(金)・23日(金)

時間：13時30分～15時30分
場所：雲南市立病院 南棟2階 検診・人間ドック室



家族で取り組む インフルエンザ対策

インフルエンザが流行する季節となりました。ただでさえ強力な感染力を持っているインフルエンザ。家族1人でもインフルエンザになると一気に家族全員が感染する危険性が高まります。まずはインフルエンザを理解し、そして家族全員で正しく予防しましょう。

インフルエンザの基礎知識

- インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症です。
- ウイルスの特徴…A型、B型およびC型があり、A型およびB型は集団感染や流行を引き起こします。
- 臨床症状…潜伏期間1～4日(平均2日)。発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛、咽頭痛、咳や鼻汁などの上気道炎症が、約1週間の経過で軽快します。
- 周囲への感染期間は症状出現から発症後7日程度ですが、最も感染力が強い期間は発症初期の3日間です。
- 感染経路…感染した人の咳やくしゃみでウイルスが拡散され、その飛沫を吸い込むことにより感染する飛沫感染。他に、ウイルスが付着したところに触れた手で、顔



面(目や口、鼻)の粘膜表面を触ることによる接触感染があります。

インフルエンザに感染してからの対応

インフルエンザの予防 (外出時)

- マスクをつける
鼻と口をしっかりと覆い、隙間がないように着用することがポイント！
- ↓マスクの表面にはインフルエンザウイルスが付いているかもしれないので、マスクを外すときはマスクの表面を触らないようにゴム紐を持って外しましょう。
- 小まめに手を洗う
↓手すりやドアノブなど人がたくさん触る場所にはインフルエンザウイルスが付着している可能性があります。スーパーやショッピングモールの入り口などに設置してある手指消毒アルコール製剤を有効に使用しましょう。

栄養と休養

日ごろから栄養のあるものをバランスよく食べて、疲れを残さないように十分な睡眠をとり、免疫力を落とさないようにすることが重要です。

インフルエンザにかかってしまったら

「咳エチケット」行う

- ↓自分から感染が広がるのを防ぐために、咳やくしゃみが他人に直接かからないようにすることを咳エチケットと言います。
 - ↓インフルエンザの人がマスクを着用し咳エチケットを行うことで、周囲への感染がかなり減少します。
-
- ①くしゃみが出そうになったら、ティッシュなどで鼻と口を押さえます。ティッシュがない場合は、手ではなく周囲に触れにくい曲げたひじの内側などで押さえます。
 - ②周りの人から顔を背け、2mくらい離れます。
 - ③使用後のティッシュなどはすぐにゴミ箱に捨て、手を洗います。

●インフルエンザにかかったかもしれないときは、咳エチケットを行い、マスクを着用し医療機関を受診しましょう。
●インフルエンザの検査は発症から概ね12時間以上経っていないと、正確な診断ができません。夜中に急に発熱したからといって、急いで医療機関を受診する必要はありませんので、まずは電話で相談ください。



森合秀彦さん・純子さんのお子さん
なおか 成織佳ちゃん (大東町仁和寺)
平成29年1月8日生まれ
誕生日おめでとう♪
よく食べ、よく笑い、お姉ちゃん達と元気に成長してください♪



塩野正顕さん・知佳さんのお子さん
こうき 公己ちゃん (大東町薦沢)
平成29年1月9日生まれ
1歳のお誕生日おめでとう♪
いつも家族に笑顔をくれてありがとう♪
明るい子になってね♪



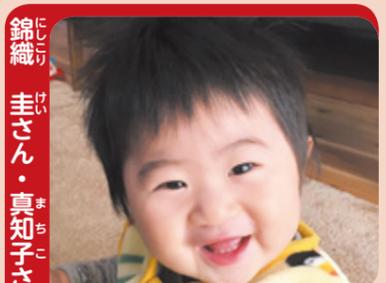
持田純也さん・久美さんのお子さん
あんな 杏寧ちゃん (加茂町大西)
平成29年1月10日生まれ
お誕生日おめでとう♪ いつも可愛い笑顔を見せてくれる杏寧ちゃん♪
お姉ちゃんと仲良くね♡



落部 大さん・千英さんのお子さん
こはる 心温ちゃん (三刀屋町下熊谷)
平成29年1月12日生まれ
1歳おめでとう♡ 生まれてきてくれてありがとう♡ みんなこはるちゃんの笑顔が大好きだよ♡



石田拓也さん・彩さんのお子さん
まお 希央ちゃん (木次町木次)
平成29年1月12日生まれ
生まれて来てくれてありがとう♪
いつもニコニコまおちゃん♡
お姉ちゃんと仲良くね☆



錦織 圭さん・真知子さんのお子さん
あおい 蒼ちゃん (加茂町加茂中)
平成29年1月20日生まれ
泣いて笑ってあつという間の1年だったね😊
これからもマイペースに元気にすくすく育てね♪



周藤和也さん・希さんのお子さん
ゆきの 幸望ちゃん (木次町東日登)
平成29年1月26日生まれ
お姉ちゃんと音楽がとにかく大好きなゆきちゃん♡
1歳おめでとう♪
これからも元気に育てね♪



村尾英行さん・瑞貴さんのお子さん
ひづき 柊月ちゃん (木次町里方)
平成29年1月31日生まれ
笑顔のかわいいひーちゃん♡
お兄ちゃんとたくさん遊んで元気に大きくなあれ☆



田中広樹さん・千絵美さんのお子さん
に な 仁菜ちゃん (大東町田中)
平成29年1月31日生まれ
1歳おめでとう♪ これからも可愛い笑顔がたくさんみせてね♡
すくすく元気に大きくなあれ♪



こんにちは、**保健師**です。
149

2020年のオリンピックに向けて、受動喫煙の防止策について議論や取り組みが進んでいます。受動喫煙とは、本人は喫煙をしなくても周りの人がたばこの煙を吸わされてしまうことです。雲南圏域でも、健康長寿しまね推進会議の呼び掛けにより、公共施設、職場や地域での受動喫煙の防止の活動が広がっており、「たばこの煙のない施設」は、平成29年5月時点で178カ所の登録があります。雲南市においても、健康教室、成人式、5月の世界禁煙デー等あらゆる機会において受動喫煙防止の啓発活動を実施しています。タバコの煙には、喫煙者が直接吸い込む「主流煙」と点火部から立ち上がる「副流煙」がありますが、副流煙の方が主流煙の2〜100倍の有害物質を含んでいるといわれています。

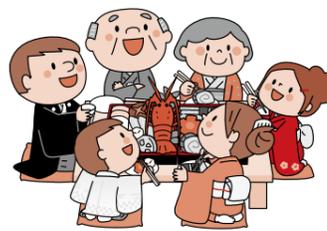
また最近では、加熱式タバコ(以下、「電子タバコ」という)が発売されています。喫煙者の中には、火をつけて燃焼させないため、「煙がないから」と電子タバコに移行する人がいるようです。喫煙者からの吐く息からは、紙タバコと同等の発がん性物質が出ているという研究データもあり、煙が見えにくく、臭いもわずかであるため、周囲の者が気づくことが難しい場合もあります。このように受動喫煙を含むタバコに関する調査が進んでおり、新たな情報を得て、自分自身または家族・職場・地域の健康を守っていき、タバコを吸う人も、吸わない人も、相手のことを思いやった行動がとれ、共に住みやすい地域をつくっていくことが大切です。



こげなことしとーます 研究所 うんなん

このコーナーでは、健康づくりに役立つ情報や身体教育医学研究所うんなんの活動についてお知らせします!

お正月から楽しい食事を! 明けましておめでとうございませう。お正月ということでは家族が集まることではないでしょうか。こたつで温もりながら、おいしいものをたくさん食べるということが正月の醍醐味だと私は思っています。でも、お正月といえれば気になるのが「食べ過ぎ」ではないでしょうか。今回は、楽しく食べるという大切さについて管理栄養士の視点からお話したいと思います。



こころからは高齢の方にあてはまる話題です。そんな好き勝手に食べて健康的じゃないのではと思う方もいると思います。しかし、最近の研究で少しくらい太っているほうが元気に長生きする、ということが分かっています。いろいろな食品をいっぱい食べよう。いろいろな食品をお腹いっぱい食べて食事を楽しむこと、そしてやはり適度に身体を動かすことが健康への近道かもしれませんね。身体教育医学研究所うんなん

☎0854-49-9050

楽しく食べるとこんなイイコト

皆さんが食事を楽しいと思うときはどのようなときでしょうか。誰かと食事をするときや、それがおいしいときは楽しいと感じますよね。また、普段は食べないような食材が食卓にあることや、品数が多いことも楽しいということにつながるのでは。このように楽しく食べるということは多くの種類の食品を食べる機会が増えるということでもあります。楽しく食事をしたいならば、自然と種類が増えパランスのとれた食事ができるので、身体を強く保つことができます。

いろいろな食品をいっぱい食べよう

2月で満1歳(平成29年2月生まれ)のお子さんを募集!
写真に①お子さんの名前(ふりがな)、②お子さんの誕生日、③ご両親の名前(ふりがな)、④住所、⑤電話番号、⑥コメント(40字程度)を添え、郵便またはE-Mailで**1月5日(金)**までに情報政策課へ送付ください。
郵送される場合のあて先 〒699-1392 雲南市木次町里方521-1 雲南市役所情報政策課「わが家のHOPE」係
E-Mailで送付される場合のあて先 jyouthouseisaku@city.unnan.shimane.jp (タイトルは「わが家のHOPE」としてください。)
【問】情報政策課 ☎0854-40-1015
※携帯電話で撮影される場合、顔のアップを撮影されるとにきいにおさまらないことがありますのでご注意ください。
※市ホームページおよび子育てポータルサイトにも「わが家のHOPE」を掲載します。 ※お送りいただく個人情報は「わが家のHOPE」以外の目的には使用しません。
※郵便物またはメールが届きましたら、情報政策課から「到着確認」の電話をかけます。投稿後、当課から電話がないときは問い合わせください。

子育てポータルサイト ゆっくり、子育て。雲南市
子育て情報をひとまとめにしたサイトです。ぜひ、活用ください。
<http://kosodate-unnan.jp> または、右記のQRコードから



若者チャレンジ

雲南コミュニティキャンパス (U.C.C) の紹介

雲南市で大学生のチャレンジを生み出す！

そんな想いから、雲南市では雲南コミュニティキャンパス事業に平成28年度から取り組んでいます。2年目の取り組みとなる本年度は6月10日、11日の「スタートアップ合宿」から始まり、夏休み期間を中心に、地域自主組織や市内団体の皆さんに協力をいただきながらインターンシップやフィールドワークを実施しました。全国25の大学・専門学校から112人の学生が参加し、さまざまな活動を展開しながら、地域の課題を学びその解決に向けた取り組みや、地域の魅力を

さらに高める活動などを展開しました。

12月9日(土)には雲南コミュニティキャンパス成果報告会「U.C.C AWARD 2017」で6組の大学生が自身の学び・成長・次のチャレンジプランについて堂々と発表を行いました。

本年度後期もインターンシップや春の“雲南市桜まつり”に向けた企画作りなどで学生たちがチャレンジしていきます。大学生のチャレンジにご期待・ご声援をよろしく願います！



▲成人式プロジェクトについて発表する三刀屋町出身の大学生 上田航平さん

市役所からのお知らせ
Information from the UNNAN city

おめでとうございます

◎高齢者叙勲
旭日単光章
地方自治功労により
伊藤 一巳さん(吉田町)
◎社会福祉功労者厚生労働大臣表彰
民生委員・児童委員
谷岡美榮子さん(木次町)
◎島根県各種功労者表彰
統計功労により
稲村 文男さん(三刀屋町)
地方自治功労により
石川 幸男さん(大東町)
影山 喜文さん(掛合町)
交通安全功労により
若槻 隆信さん(木次町)
女性の地域活動功労により
白根 三代子さん(大東町)
保健・医療・福祉功労により
落合 研さん(掛合町)

◎雲南市
ふるさと納税

神崎 茂さん(大阪市)
北村 国博さん(川崎市)
早川 和志さん(東京都世田谷区)
安田 龍二さん(東京都葛飾区)
吉木 節也さん(千葉県松戸市)
高嶋 哲也さん(大阪市)
本間 有紀さん(大阪市)
山崎 節子さん(大東町)
景山 幹史さん(神戸市)
鈴木 喜久さん(徳島県徳島市)
家塚 昭年さん(兵庫県西宮市)
松本 津子さん(大阪府泉南市)
浜中 靖子さん(大阪府吹田市)
遠藤 祥子さん(横浜市)
井上 静江さん(広島市)
須山 昌利さん(京都市)
荒川 雄彦さん(山梨県北杜市)
祝 允宏さん(愛知県知多市)
小積 章倫さん(東京都練馬区)
大日向 明子さん(東京都板橋区)
竹田 雅枝さん(高知県高岡郡)
福留 淳吉さん(東京都目黒区)
伊瀬 孝子さん(松江市)
吉田 一平さん(兵庫県芦屋市)
田下 茂樹さん(埼玉県越谷市)
海野 雄生さん(横浜市)

大西 智之さん(大阪市)
重田 由美子さん(鳥取県米子市)
沢田 洋子さん(兵庫県姫路市)
岩田 茂樹さん(千葉県船橋市)
石田 雅彦さん(東京都小井町)
今井 洋介さん(新潟市)
本田 千穂さん(岡山市)

◎市立中学校・図書館・図書室
木次線写真集
雲南市蒸気機関車
C56108保存会

◎教育委員の任命
教育総務課
☎0854-40-1071
議会の同意を得て、新たに教育委員が任命されましたのでお知らせします。
【新教育委員】 大場 篤
【任期】 平成29年12月9日から平成33年12月8日まで

国民宿舎清風荘の休館
観光振興課
☎0854-40-1054
国民宿舎清風荘は、昭和37年にオープンして以来、55年にわたり営業してまいりましたが、2月より改築整備に入



大場 篤さん

るため休館します。リニューアルオープンは平成31年をめざしています。

【清風荘営業】
宿泊・宴会 1月21日(日)まで
日帰り入浴 1月27日(土)まで
【問い合わせ】
国民宿舎清風荘
☎0854-75-0031

医療費通知を活用した医療費控除申告の簡素化
市民生活課
☎0854-40-1031

これまで所得税や住民税の確定申告の医療費控除を申告する際に、医療機関等の発行する領収書を添付していましたが、平成29年度の税制改正により、平成30年1月1日以降の申告から領収書にかえて、医療保険者から送付される医療費通知が活用できるようになりました。

雲南市の国民健康保険では、平成29年1月から12月までの診療分の自己負担額を記載した医療費通知を再度作成し、2月中旬に発送します。確定申告に活用ください。

なお、保険外診療を受けた場合や市販薬を購入された場合は、送付する医療費通知に記載されませんので、医療機関等が発行する領収書を添付して申告してください。



みんなの食育体験!



市内幼稚園・認定こども園・保育園(所)では毎月食育活動を実施しています。先生や地域の方と一緒に野菜を育てたり、収穫して料理教室を開いたりしています。子どもたちにとって初めての体験となっています。その一部を紹介します。



給食で使うソラマメのサヤ剥きをしました。ソラマメは近くの農家の方からいただきました。絵本「ソラマメのベッド」を連想しながらしました〜♪
(6月12日 大東保育園)



園で実った桑の実で、ジャムサンドのジャムを作っているところです。おいしくなあれ〜☆
(6月21日 木次こども園)



大きくなったサツマイモをみんなで収穫し、スイートポテトや焼き芋、豚汁の具材としておいしく食べました。よっころしょっ! (10月11日 三刀屋こども園)

~毎月19日は食育の日です。食について考えてみましょう!~

- うんなんの食育あいうえお
- あ 朝ごはんを食べよう
 - い 「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしよう
 - う 雲南市産の食材を使おう
 - え 栄養バランスを考えた食事をしよう
 - お おいしい食事はみんなで一緒に食べよう
- ~うんなん食育ネット~



広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

水道管凍結に注意 してください

水道局 営業課

☎0854・42・5322

気温がマイナス4℃以下になると水道管が凍結し、水が出なくなったり水道管が破裂する恐れがあります。家周りの水道を点検し、防寒対策をしましょう。

■凍結防止対策

- ① 外壁露出水道管は、発泡スチロール製の保温材や凍結防止ヒーターなどを巻いて、保温・防護をしましょう。
 - ② 長らく留守にされるときは、止水栓を閉めるか、水道局へ中止届を提出ください。
 - ③ 庭先の水栓柱には、布を巻き、その上にビニール袋などをかぶせて保温をしましょう。水抜き栓の取りつけも有効です。
 - ④ 水道管が凍ってしまったら、タオルや布をあて、その上からゆっくりぬるま湯をかけて溶かします。
 - ⑤ 離れ、車庫、倉庫など、普段使わない水道には、バルブを設置して閉めておくことも有効です。
- ※水道管の凍結等による破

裂・故障修理は、雲南市指定給水装置工事業者に依頼してください。

小規模企業共済制度 の案内

商工振興課

☎0854・40・1052

個人事業主（共同経営者含む）・会社等の役員の方が事業をやめられる場合などに備えて、あらかじめ資金を準備しておく共済制度で、「小規模企業の経営者のための退職金制度」といえます。この制度の特徴は、掛金が全額所得控除となります。独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営し、商工会、金融機関の本支店などの窓口で取り扱っています。

【問い合わせ先】

中小企業基盤整備機構
☎05055417171

今月の税金

- 個人市県民税(第4期)
- 国民健康保険料(第7期)
- 後期高齢者医療保険料(第7期)

納期限は1月31日(水)です。

口座振替の方は、前日までに残高を確認してください。

原子力災害に備えた安定ヨウ素剤の事前配布 危機管理室

☎0854・40・1027

島根原子力発電所で原子力災害が発生した場合、原子力発電所から放出される放射性ヨウ素による内部被ばくを低減するため、災害発生時に、安定ヨウ素剤を緊急的に配布することになっています。

市では、島根原子力発電所から30km圏内にお住まいで、距離が遠いなど速やかに配布を受けることができない市民の方を対象に、事前配布を実施します。

事前配布を希望される方は、安定ヨウ素剤事前配布申請書を提出の上、後日開催する事前配布説明会へ参加ください。詳しくは、別途配布するチラシをご覧ください。

【30km圏内対象地域】

大東町、加茂町の全地区、木次町（木次、斐伊、日登、西日登）、三刀屋町（三刀屋一宮）

【事前配布説明会日程】

3月4日(日) 大東地域交流センター
3月11日(日) 雲南市役所本庁舎

市営・県営住宅の 入居者募集

■建築住宅課

☎0854・40・1065

◆市営住宅空家入居者

【募集期間】

1月5日(金)から1月15日(月)17時締切

【募集団地】

1月1日に市ホームページ、1月4日に島根県住宅供給公社ホームページに掲載します。

【選考方法】

選考により入居者を決定します。

◆県営住宅空家入居者

【募集期間】

【募集団地】

島根県住宅供給公社ホームページをご覧ください。

【選考方法】

先着順により入居者を決定します。

【申し込み】

雲南住宅管理事務所に備える申込用紙に所定の事項を記入し、必要な書類等(住民票・所得課税証明書等)を確認のうえ、直接提出してください。

◆公社定住促進賃貸住宅(グランド・ベルポート等)空家入居者

【募集期間】 随時募集

【募集団地】

市ホームページおよび島根県住宅供給公社ホームページに随時掲載します。

【申込方法】

雲南住宅管理事務所にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

雲南住宅管理事務所
8時30分から19時まで(土・日・祝日は除く)
☎0854・477151

毎月19日は **食育の日**

健康づくり政策課 ☎0854-40-1040

毎月第3日曜日は **うなんん家庭の日**

雲(うん)と遊ぼう!! 南(なん)でも話そう!!

1月21日 2018

社会教育課 ☎0854-40-1073

要介護認定者の障害者控除認定書を発行します

☎長寿障がい福祉課 0854-40-1042

介護保険の要介護認定を受けている方は、平成29年12月31日現在の認定状況により、所得税法および地方税法上の障害者控除を受けられる場合があります。

■認定の基準

所得税法および地方税法に基づき、次の基準により「障害者控除」または「特別障害者控除」の対象であることを認定し、認定書を発行しますので、確定申告の際に提示してください。

※要介護認定を受けていた方が平成29年途中で死亡された場合は、最終の認定状況により判定します。

■「障害者控除」の対象者

介護度が要介護1～5の方で
主治医意見書の「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅡa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲbのいずれかに判定された方

■「特別障害者控除」の対象者

- ① 介護度が要介護1～5の方で
主治医意見書の「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅣ、Ⅴのいずれかに判定された方
- ② 介護度が要介護3～5の方で
主治医意見書の「障害高齢者の日常生活自立度」がB1、B2、C1、C2のいずれかに判定された方

■申請の際に必要なもの

印鑑、介護保険被保険者証、身体障害者手帳（お持ちの方）

- ◆ 1級または2級の身体障害者手帳をお持ちの方は、「特別障害者控除」を受けることができますので、この認定申請は必要ありません。
- ◆ 3～6級の身体障害者手帳をお持ちの方は、「障害者控除」を受けることができますが、要介護認定状況により「特別障害者控除」に該当する場合があります。

■申請場所・問い合わせ先

長寿障がい福祉課または各総合センター市民福祉課

くらしの消費生活窓口

問い合わせ 雲南市消費生活センター ☎0854-40-1123



「国民訴訟通達センター」「民事訴訟管理センター」からの架空請求ハガキは無視してください

事例

「総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」という身に覚えのないハガキが届いた。訴訟の取り下げ期日が本日になっている。あわてて電話したところ、最終的には、プリペイドカード30万円分を買うよう指示された。

架空請求の特徴

1. 「最終通告」「民事訴訟」「訴状受理」等の言葉が使われていることが多い。
2. 請求金額や債務の内容がはっきりしない。
3. 至急電話をするように促す。
4. 連絡先の電話番号は東京の市外局番「03」で始まるものが多い。
5. 公的機関のような名称が多い。

対処法

- ◆ 支払わずに無視してください。
- ◆ 不安を感じたり、対処に困った時は、すぐにお近くの警察署、消費生活センターに相談しましょう。

新商品 特集

雲南市では、産業振興の一環として、市内における新商品開発の取り組みを「新商品開発及び販路拡大事業補助金」によって支援しています。本補助金を活用して開発された新商品を、市民の皆さんへ広くお知らせするため、順次紹介していきます。

(有)紅梅しょうゆ
おかず味噌



商品紹介
雲南市のコシヒカリの米麴と醤油で仕込んだ醤油麴に、雲南市産のニンニクをブレンドしました。食べる醤油シリーズの自社4作目です。白飯や豆腐に乗せて食べるのもよし、焼肉や餃子にも合います。ぜひご賞味ください。

価格 おかず味噌 (ニンニク) 400円 (税込)
内容量 70g

販売 自社店舗、スーパー、道の駅 等

有限会社 紅梅しょうゆ

検索

シリーズ 10

【問い合わせ】 商工振興課 ☎0854-40-1052

「雲南市勤労青少年ホーム」を利用してください!

シリーズ 03

～木次町にある雲南市勤労青少年ホームについてシリーズで紹介します～

参加してみませんか?
例年、利用者が集い「ボーリング交流会」や「テーブルマナー教室」を開催し、若者同士の親睦を深め、楽しく学びながら仲間の輪を広げる活動をしています(今年度は2月～3月中旬に実施予定)。皆さんの参加をお待ちしています!

ボランティア活動を行いました!
12月9日(土)に勤労青少年ホームの利用者の皆さんが、さくら苑 さくらんぼの家(木次町)で体拭き等に使用する布(ウエス)作りのボランティア活動を行いました。また、勤労青少年ホームに集まった布はウエスにして年明けに福祉施設にお届けします。



ボランティア活動でのウエス作り

古着(綿素材)回収に協力ください!
Tシャツ等の「綿素材の古着」や「タオル類」を回収しています。回収したものは福祉施設でウエスとして再利用されます。毎年、利用者が施設を訪問し、ウエス作りに協力しています。

勤労青少年ホーム / 〒699-1332 雲南市木次町木次1012-1
TEL:0854-42-5211 / FAX:0854-42-2243 / E-mail:home@bs.kkm.ne.jp

高病原性鳥インフル エンザに注意ください!

林業畜産課

☎0854-40-1050

今冬も渡り鳥の飛来シーズンに入りました。鳥根県内では野鳥から高病原性鳥インフルエンザが検出されている状況です。

家きんを飼育されている皆さんは、次の事項に特に注意いただき飼育をお願いいたします。また、異常を発見の際には出雲家畜保健衛生所へ速やかに連絡をお願いします。

1、鳥小屋への野生動物の進入防止のためのネット等の設置・点検および修繕
2、鳥小屋へ出入りする際の手洗いおよび靴の消毒
3、飼養している鳥の状態のこまめな観察、異常発見時の家畜保健衛生所への通報

※「家きん」とは、「ワトリ、アヒル、ウズラ、キジ、ダチョウ、ホロホロチヨウ、シチメンチヨウ」です。

【問い合わせ先】
出雲家畜保健衛生所
☎0853-43-7900

戦没者等のご遺族の 皆さんへ

市民生活課

☎0854-40-1031

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金(第十回特別弔慰金)の請求については、請求期限が近づいています。まだ請求されていない方は、早め手続きをお願いします。

【支給対象者】
平成27年4月1日(基準日)において、「恩給法」による公務扶助料」や「援護法による遺族年金」等を受ける方(戦没者等の妻や父母等)がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族一人に支給されます。

【支給の順番】
戦没者等の死亡当時のご遺族で
1、平成27年4月1日までに援護法による弔慰金の受給権を取得した方
2、戦没者等の子
3、戦没者等の①父母 ②孫

※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。

4、上記1から3以外の戦没者等の三親等内の親族(甥、姪等)

※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限りです。

【支給内容】
額面25万円、5年償還の記名国債

【請求期限】
4月2日(月)まで(請求期限を過ぎると第十回特別弔慰金を受けることができなくなりますので、ご注意ください。)

【請求窓口】
各総合センター市民福祉課または市民生活課
日本一短い「感謝」の手紙募集

雲南市青少年健全育成協議会(社会教育課)
☎0854-40-1073

毎年1月は「うんなん家庭の日」普及強調月間です。日頃の感謝の気持ち、やさしい気持ちを短い手紙にして送ってみませんか。たくさんの方の感謝の手紙で、雲南市にありがとうの花をさかせましょう。

【募集期間】
1月10日(水)から3月23日(金)

【応募方法】

応募用紙は、市内図書館、社会教育課に備え付けてあり、市ホームページからダウンロードもできます。また、次のメールアドレスからも応募できます。
shakai-kyouiku@city.unnan.shimane.jp

【その他】
応募作品の一部は「市報うんなん」等で紹介させていただきます。

■昨年度の応募作品から

お兄ちゃんへ
いつも遊んでくれてありがとう。いっしょにねてくれてありがとう。またいっしょに車で遊びに行こうね。
弟へ

これからの時間のある時は、外で遊んだり車で遊びに行こうね。楽しい時間を増やしていこうな。

お父さんへ
いつもお仕事をがんばってくれてありがとう。これからもお仕事ががんばってね。
娘へ

いつも優しい言葉がありがとう。その言葉がうれしくて励

みになるよ。いつまでも優しい心を持ち続けてね。

お父さんへ
いつもしごとが大へんなのに、おふろに入ってくれてありがとう。おしごとがんばってね。ぼくもがんばるね。
息子へ

いっしょにスポーツができるようになってうれしいよ。いつかお父さんより強くなるまでは、まだ負けないぞ。

お詫びと訂正

12月号の掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。

●うんなん日和 10ページ

鳥根中央牛共進会

(誤) 山根 秀男さん

(正) 山根 英男さん

●市役所からのお知らせ 27ページ

特定不妊治療助成制度
申請方法

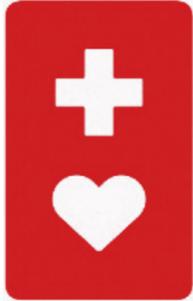
(誤) 申請は鳥根県の交付決定を受けた日の属する年度内に申請してください。

(正) 申請は鳥根県の交付決定を受けた日から起算して1年以内に申請してください。

「ヘルプマーク」を交付します

☎ 長寿障がい福祉課 0854-40-1042
 ☎ 島根県障がい福祉課 0852-22-6685

ヘルプマーク・ヘルプカードは、障がい者や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい方が身につけることで、周囲に援助や配慮が必要であることを知らせるために、全国で普及がすすみつつあるマークです。島根県でも、12月1日からこのマークとカードを導入し、普及に取り組んでいきます。

	ヘルプマーク	ヘルプカード
マーク	 (ストラップ付き)	
使い方	<ul style="list-style-type: none"> ○かばんに装着するなど、身につけることで外出先で周囲に援助や支援を必要としていることを知らせるものです。 ○氏名や連絡先、必要な支援などを書き込んでマークに貼り付けることができるシールを同封して交付します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○氏名や連絡先、必要な支援などを書き込むことができます。支援などを求めたい場面で提示し必要な支援内容を相手に知らせることができます。(例:アレルギーの内容、体調の急変時に病院への連絡を依頼する等)
交付方法	<ul style="list-style-type: none"> ○長寿障がい福祉課または各総合センター市民福祉課で申請書を提出していただき、その場で交付します。 ○郵送・FAXによる申請窓口は次のとおり 〒690-8501 松江市殿町1番地 島根県障がい福祉課 FAX 0854-22-6687 ●ヘルプマークは無料で交付しますが、1人1個までとします。 ●印鑑、障害者手帳等の提示は不要です。 ●代理の方が申請することも可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県障がい福祉課のホームページから印刷して利用してください。 <p>[掲載ページアドレス] http://www.pref.shimane.lg.jp/medical/fukushi/syougai/ippan/helpcard.html</p> <p>※ヘルプマークの申請書も掲載</p>

～ ヘルプマーク・ヘルプカードを見かけたら 思いやりのある行動を～

- ♥ 公共交通機関では席をお譲りください。駅や商業施設などで声をかけるなどの配慮をお願いします。
- ♥ 災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。



地方版図柄入りナンバーの取り組み

☎ 政策推進課 0854-40-1011

出雲市、雲南市、奥出雲町および飯南町の2市2町で検討を進めてきました「地方版図柄入りナンバー」の取り組みにつきましては、市民の皆さんのご意見ならびにアンケート調査結果などを踏まえ、雲南市は現時点での導入は見送ることとしました。

なお、出雲市、奥出雲町および飯南町の1市2町は「出雲」ナンバーの導入を取り組まれます。2市2町のアンケート調査結果の概要は以下のとおりです。

1. アンケート調査結果 (出雲ナンバーの導入をどう思いますか?)

		出雲市	雲南市	奥出雲町	飯南町
賛成	人	1,928	122	111	108
	%	78.7	35.9	64.9	70.1
現行のまま	人	423	148	45	29
	%	17.3	43.5	26.3	18.8
出雲の國	人	—	37	9	9
	%	—	10.9	5.3	5.9
その他	人	95	13	6	8
	%	3.9	3.8	3.5	5.2
未記入	人	4	20	0	0
	%	0.1	5.9	0	0
合計	人	2,450	340	171	154
	%	100	100	100	100

2. アンケート葉書配布数・回答者数等

自治体名	送付総数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
出雲市 (市民対象)	3,000	1,285	42.8
出雲市 (市内各種団体等)	1,650	1,165	70.6
計	4,650	2,450	52.7
雲南市	700	340	48.6
奥出雲町	295	171	58.0
飯南町	200	154	77.0

公共施設等の適正化に向けて

☎ 行財政改革推進課 0854-40-1024

今年度、公共施設等の適正化を推進するため、具体的な取り組みを示した実施方針案について、雲南市行財政改革審議会へ諮問され、審議が行われてきました。このほど審議会で意見が取りまとめられ、12月7日、関 耕平委員長から速水市長に答申書が手渡されました。

関委員長は「公共施設は行政サービス、市民生活の基盤で、大変重要なものである。今後どう再編していくのかは地域と市民生活の将来を左右する。この審議会の議論では市民の視点からの意見がかなり多く出た。今後この意見をくみ取って進めていきたい」、他の委員からは「施設が市中心部に集中するのではなく、周辺地域との均衡のとれたものにしていただきたい」などと意見を述べられました。

これを受け、市では実施方針を策定し、市民の皆さんのご理解を得ながら公共施設等の適正化に取り組めます。



速水市長(右)に答申書を手渡す関委員長(左)

1月 子育て支援センターなどのスケジュール

大東 教室・相談			
大東子育て支援センター (あおぞら保育園内)	赤ちゃん教室「赤ちゃんの発達とおもちゃの話・離乳食試食」 子育て相談 子育て教室「お餅つき」	10日(休) 12日(金)、26日(金) 17日(休)	9:30～11:30 10:00～16:00 9:30～11:30
子育てサロン			
木馬 (おおざ)		毎週火・木曜日 (1/9～)	9:30～15:30
よちよち (旧久野幼稚園)		6日(出)	9:30～11:30
ぽかぽかひろば (幡屋交流センター)		9日(火)	9:30～11:30
ぽっぽ (佐世交流センター)		11日(休)	9:30～11:30
うしお (海潮交流センター)		12日(金)	9:30～11:30
地域サークル			
佐世 (佐世交流センター)		18日(休)	9:30～11:30
大東 (木馬)		19日(金)	9:30～11:30
問い合わせ先 ▶ 大東子育て支援センター (あおぞら保育園内) ☎43-9500 ▶ 地域福祉センターおおざ ☎43-5610			

加茂 支援センター			
加茂子育て支援センター	たんぽぽひろば (誕生会&鏡開きをしよう) ※1月生まれのお友だちは予約ください。 お茶会 (※要予約) たんぽぽひろば (ベビーマッサージ・タッチケア) ※行事があっても通常利用できますので利用ください。	10日(休) 12日(金) 17日(休)	10:00～(1時間程度) 10:00～(1時間程度) 10:00～(1時間程度)
教室・相談			
加茂子育て支援センター	もぐもぐ教室(5～6ヵ月児対象離乳食教室) もぐもぐ教室(7～8ヵ月児対象離乳食教室) もぐもぐ教室(9～11ヵ月児対象離乳食教室) たまごクラブ (妊婦さんサロン)	11日(休) 18日(休) 25日(休) 30日(火)	10:00～ (※要予約) 10:00～ (※要予約) 10:00～ (※要予約) 10:00～ (※要予約)
問い合わせ先 ▶ 加茂子育て支援センター ☎49-8355			

木次 支援センター			
木次子育て支援センター	りす・うさぎの日 かるた大会 小麦粉粘土 (要予約) ひよこの日 シフォンケーキ教室 (要予約) 赤ちゃんとお母さんの足みマッサージ 2～8ヵ月 (要予約) ミュージックケア (年齢不問、要予約) 誕生会 (誕生児要予約) リフレッシュ講座 6ヵ月未満のママ (要予約) 整体セルフケア講座 (要予約) 産後ウォーキングレッスン 3～7ヵ月 (要予約)	17日(休) 18日(休) 19日(金) 24日(休) 25日(休) 25日(休) 30日(火) 31日(休)	10:00～ 10:00～ 10:00～ 10:00～ 10:30～ 13:30～ 10:00～ 10:00～
出前保育			
日登交流センター		10日(休)	10:00～
教室・相談			
木次子育て支援センター	ベビーマッサージ(3～7ヵ月) (要予約)	23日(火)	10:00～
問い合わせ先 ▶ 木次子育て支援センター ☎42-2030			

吉田 社協子育てサロン (あいあいクラブ)			
吉田健康福祉センター	ゆきあそび♪	17日(休)	9:30～11:30
問い合わせ先 ▶ 雲南市社会福祉協議会吉田支所 ☎74-0078			

掛合 支援センター (分室: 掛合体育館)			
分室	初釜の会 お話の日	12日(金) (要予約・メ切5日) 29日(月)	9:30～11:00 10:30～11:00
問い合わせ先 ▶ 掛合子育て支援センター ☎080-2909-4713			

園(所)開放日			
西幼稚園		12日(金)	9:30～11:00
大東保育園		毎週水曜日	9:00～14:00 試食の予約: 前日16:00まで
かもめ保育園		毎週金曜日	9:30～12:00 試食の予約: 前日16:00まで
あおぞら保育園	毎日 試食は金曜のみ		試食の予約: 当日9:00まで
加茂こども園		23日(火)	9:30～12:00 (要予約)
たちばら保育園		月曜日～金曜日 (平日)	10:00～(1時間程度)
木次こども園		土曜日午後・日曜日 (行事あるときは除く)	開放は園庭のみ
三刀屋保育所		11日(休)	10:00～(1時間程度)
吉田保育所		18日(休)	9:30～11:30
田井保育所		17日(休)	9:30～11:30
夢の子園		17日(火)・24日(休)	9:00～11:00
園舎試食会		17日(火)	11:00～12:00 (要予約・メ切10日)
問い合わせ先 ▶ 各園(所)または子ども政策課 ☎0854-40-1044 ※育児相談、離乳食教室についてはP26をご覧ください。			

図書館だより

市立図書室の利用案内	
三刀屋図書室「うちの宝箱」(永井隆記念館内) 電話: 0854-45-2239 開館時間: 9:00～17:00 休館日: 毎週月曜日、2日(火)～4日(木)、9日(火) おはなし会: 6日(土) 10:00～、17日(水) 14:30～ 三刀屋子育て支援センター 30日(火) 10:00～	
吉田図書室 (吉田交流センター内) 電話: 0854-74-0219 開館時間: 9:00～17:00 休館日: 毎週日曜日、祝日	掛合図書センター「陽だまり館」(掛合交流センター内) 電話: 0854-62-0189 開館時間: 9:00～17:00 休館日: 毎週日・月曜日、祝日

木次図書館 ☎0854-42-1021 開館時間: 10:00～18:00	
1月の休館日 毎週月曜日 年始休館: 1日(月)～3日(水)、8日(月・祝) 振替休館: 9日(火) 月末整理休館: 31日(水)	
イベント案内 ☆よみかたりのじかん 毎週木曜日 14:30～	

大東図書館 ☎0854-43-6131 (電話受付: 月・水・木(祝日は除く) 9:00～17:00)	
大東図書館は増改築整備のため、下記の日程で長期休館しています。 期間: 平成29年4月1日～平成30年6月頃 皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。 ※本の返却は、図書館隣の「大東健康福祉センター・玄関前」にある返却ポストを利用ください。	
イベント案内 ☆こぐまちゃんくらぶ (わらべうた遊びの会 対象: 乳幼児と家族の方) 休館に伴い会場を変更し、下記の日程で開催します。 会場: 阿用交流センター 図書室 開催日: 15日(月)、22日(月) 10:30～ ※参加された方には、乳幼児向けえほんの貸出も行います。	

加茂図書館 ☎0854-49-8739 開館時間: 10:00～18:00	
1月の休館日 毎週木曜日 年始休館: 1日(月)～3日(水)、8日(月・祝) 月末整理休館: 31日(水)	

新着の本 (抄) 市内図書館どこでも借りることができます。貸出中の場合は予約(取り寄せ含む)ができます。各館へお問い合わせください。

▼木村忠啓「ぼくせん 幕末相撲異聞」▼伊藤たかみ「はやく老人になりたいと彼女はいう」▼西條奈加「銀杏手ならい」▼菅田哲也「ノーマンズランド」▼若竹千佐子「おらおらでひとりいぐも」▼大沢在昌「覆面作家」▼真志祐介「ミステリークロック」▼花村萬月「太閤私記」▼秋川滝美「居酒屋ぼったくり」▼小川糸「キラキラ共和国」▼中川なをみ「晴れ着のゆくえ」▼吉野翠「トモシビ」▼河野裕「いなくなれ、群青」▼河合敦 監修「謀反の通信簿 歴史に残る33の謀反を徹底評価」▼NHKスペシャル取材班「母親に、死んで欲しい 介護殺人・当事者たちの告白」▼松瀬厚人 監修「『ぜんそく』のことがよくわかる本」▼稲本陽子「自力で防ぐ誤嚥性肺炎 のどの筋肉を鍛えて寿命をのばす!」▼小国土朗「注文をまちがえる料理店 忘れちゃったけどまちがえちゃったけどまあいいか」▼つばた英子「きのう、きょう、あした。『あしたも、こはるびより。』あとみよそわか。」▼西原理恵子+卒母ズ「卒母のススメ」▼沼田英子「かわいいジャポニスム」▼加藤一二三「天才棋士 加藤一二三 挑み続ける人生」▼夏井いつき「寝る前に読む一句、二句。クスリと笑える、17音の物語」▼桂 歌丸「歌丸ばなし」▼群 ようこ「かるい生活」▼飯野たから「撮ってはいけない 知らないあなたも犯罪者に!? スマホ時代のルールとマナー」▼神尾哲男「がんで余命ゼロと言われた私の死なない食事」▼大鹿靖明「東芝の悲劇」▼永田潤子「女子の働き方」▼清武英利「石つぶて 警視庁二課刑事の残した物語」▼若間昌子「ローカル鉄道の解剖図鑑」他

住まいに関する助成制度

建築住宅課 0854-40-1065		住まいの 耐震改修
耐震診断・補強計画・改修工事に対して助成を行います。		
助成内容	①耐震診断費の90% (上限6万円) ②補強計画(設計)費の50% (上限20万円) ③改修工事費の23% (上限80万円) ④解体工事費の23% (上限40万円)	 をお考えの方へ
条件等	・昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅 ・市内に本社を有する法人または個人事業者の施工によること ・事前の申請をすること	

建築住宅課 0854-40-1065		住まいのリフォーム
住宅の改修工事に対して助成を行います。		
助成内容	①雲南省の「耐震改修助成」への上乗せ助成 耐震補強計画助成額の1/2 (上限10万円) 耐震改修工事費助成額の1/2 (上限20万円) ②島根県の「しまね長寿の住まいリフォーム助成」への上乗せ助成 バリアフリーリフォーム助成額の1/2 (上限10万円) ③内装工事を伴う新規の下水道施設接続工事への助成10万円 ④環境にやさしいエコ住宅改修およびエコ住宅設備工事への助成 改修工事費の1/5 (上限20万円) 住宅設備工事費の1/5 (上限10万円)	 をお考えの方へ
条件等	・市の住民基本台帳に登録されている世帯 ・市内に住宅を所有し、現に居住している世帯 ・同一世帯に属する者全員に市税等の滞納がない世帯 ・①と②は、それぞれの事業要件で交付決定されたもの ・③は排水設備確認通知書が交付されているもの ・平成24年度以降に「雲南省住宅改修促進事業」「雲南省住宅リフォーム支援事業」の助成を受けていない住宅 ・市内に本社を有する法人または個人事業者の施工によること ・事前の申請をすること	

税務課 0854-40-1034		新築
市内に新築住宅を取得する際に市独自の固定資産税の課税免除を受けることができます。		
免除期間	【子育て世帯でない場合】3年 Uターン者または市内事業者の施工であれば5年 【子育て世帯である場合】5年 Uターン者または市内事業者の施工であれば7年	 をお考えの方へ
免除額	【子育て世帯でない場合】対象住宅の床面積120㎡以下の部分に係る税額のうち、地方税法の新築軽減の規定により減額される額を差し引いた額。 ※地方税法の新築軽減の規定により減額される期間終了後は、対象受託の床面積120㎡以下の部分に係る税額に1/2を乗じた額。 【子育て世帯の場合】対象住宅の床面積120㎡以下の部分に係る税額すべて	

子育て世帯 夫婦の年齢若しくは夫婦いずれかの年齢が40歳未満である世帯、または年齢が16歳未満のお子さんがある世帯

Uターン者へは空き家の改修助成もあります!
改修工事の1/2 (上限50万円) ※子育て世帯は上限100万円

うなん暮らし推進課 0854-40-1014

空き家物件はこちらから
ほっこり雲南 空き家 検索
で検索。

広告枠

市では、新たな収入確保対策として、有料広告を掲載しています。掲載されている広告の内容などへの問い合わせは、直接広告主へお願いします。
このページへの広告掲載希望の方は、広告代理店 株式会社ホープ (☎092-716-1401) へ問い合わせください。なお、広告内容は市が推奨するものではありません。

1月の健診・教室など

◆育児相談			
掛合子育て支援センター	10日(水)	9:30～	
三刀屋子育て支援センター	15日(月)		
加茂子育て支援センター	15日(月)		
大東健康福祉センター	23日(火)		
木次子育て支援センター	26日(金)		
◆妊婦サロン			
大東健康福祉センター	23日(火)	10:00～	
◆離乳食教室			
木次健康福祉センター	9日(火)	9:30～	
◆両親学級 参加料：500円			
加茂健康福祉センター	27日(土)	14:00～16:00	

◆断酒会			
加茂健康福祉センター	1日(月)	18:30～20:30	
吉田ふるさとセンター	4日(水)	19:00～21:00	
大東地域交流センター	9日(火)		
下熊谷交流センター	15日(月)		
掛合まめなかセンター	17日(水)		
三刀屋健康福祉センター	29日(月)		

◆乳がん検診 (要予約)		受付時間
加茂健康福祉センター	14日(日)	9:00～12:00 13:30～16:00

献血 【問】市民生活課 ☎40-1031

三刀屋町		
みしまや三刀屋店	30日(火)	9:30～11:00
雲南警察署		12:30～14:00
平成記念病院		15:00～16:30

【問】健康推進課 ☎40-1045

◆乳幼児健診				
乳児健診	大東・加茂地区の方	加茂健康福祉センター	11日(水)	13:00～(4ヵ月児) 13:30～(10ヵ月児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	29日(月)	13:00～(4ヵ月児) 13:30～(10ヵ月児)
幼児健診	大東・加茂地区の方	大東健康福祉センター	17日(水)	13:00～(3歳児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	25日(水)	13:00～(1歳6ヵ月児)

◆その他相談			
こころの健康&もの忘れ相談	10日(水)	13:00～15:00	
【問】雲南保健所 ☎42-9642			
就業相談会(移動ナースバンク) ハローワーク雲南	10日(水)	13:00～16:00	
【問】雲南公共職業安定所 ☎42-0751			
ひとり親家庭法律相談 いきいきプラザ島根	10日(水)	13:30～15:30	(要予約)
【問】一般財団法人島根県母子寡婦福祉連合会 ☎0852-32-5920			
雲南サロン「陽だまり」	11日(水) 25日(水)	10:00～15:00	
【問】雲南保健所 ☎42-9638			
アルコールによる困りごと相談	15日(月)	13:00～15:00	
【問】雲南保健所 ☎42-9642			
交通事故巡回相談 出雲市役所	18日(水)	9:00～15:00	
【問】交通事故相談所 ☎0852-22-5102			
認知症の人と家族の会サロン「色えんぴつ」 雲南保健所	18日(水)	10:00～15:00	
【問】地域包括支援センター ☎40-1043			
難病サロン「ひまわり」	19日(木)	13:00～15:00	
【問】雲南保健所 ☎42-9638			
こころのサロン「つくし」	26日(金)	10:00～15:00	
【問】雲南保健所 ☎42-9642			

【問】うんなん暮らし推進課 ☎40-1014

◆結婚を希望する独身男女のための結婚相談			
結婚相談サロン	雲南市役所 3F 相談室	10、17、24、31日(水)	10:00～15:00
	Aコープきすき店2F	27日(土)	10:00～13:00

※内容、場所、日時の順に記載。市外局番は記載のないものはいずれも0854です。

劇団ハタチ族の、演劇カーニバル2018

出演：西藤将人さん・井上元晴さん・合田基樹さん・あきふみさん・大原志保子さん／亀尾佳宏さん(客演)

【舞台公演】

とき 1月8日(月・祝) 10:00～18:00
ところ 木次経済文化会館チエリヴァホール(2階ホール)
入場料 「人生ゲーム」一般2,000円(当日2,500円)、
 25歳以下500円(当日800円)、未就学児無料
 ※その他の公演は投げ銭制

【マルシェ】

とき 1月8日(月・祝) 11:00～16:00
ところ 木次経済文化会館チエリヴァホール(1階ロビー)

【問】劇団ハタチ族(西藤) ☎090-8606-7652

【プログラム】

9:30 狼煙上げ開会
 10:00 人生ゲーム
 脚本：亀尾佳宏さん 潤色・構成：西藤将人さん
 演出：大原志保子さん
 11:30 跳べ、守護神！
 脚本：土橋淳志さん(A級MissingLink)
 12:15 こども劇場(マルシェ会場内)
 13:00 人生ゲーム
 15:00 one person play
 脚本：樋口ミュウさん
 16:15 こども劇場(マルシェ会場内)
 17:00 人生ゲーム
 18:15 終演後みんなでカンパイ

古代鉄歌謡館 神楽の夕べ

出演：山王寺和野神楽社中

とき 1月13日(土) 19:30開場 20:00開演

ところ 古代鉄歌謡館

入場料 高校生以上500円、小中学生200円

【問】古代鉄歌謡館 ☎0854-43-6568

うなんん元気っ子わくわく教室フェスタ

～毎月いろんな場所で開催中の
わくわく教室がラメールに集結！～

とき 1月20日(土) 13:00～15:30

ところ 加茂文化ホール ラメール (ふれあいホール)

参加費 無料

【問】雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会事務局 (ラメール内) ☎0854-49-8500



平成29年度優秀映画鑑賞推進事業 チェリヴァシアター「優秀映画鑑賞会」

とき 1月27日(土)

①10:00～「夜の河」(1956年/大映/104分)

監督：吉村公三郎さん

出演：山本富士子さん、上原謙さんほか

②15:00～「雪国」(1957年/東宝/133分)

監督：豊田四郎さん

出演：岸恵子さん、池部良さんほか

1月28日(日)

①10:00～「五番町夕霧楼」(1963年/東映/137分)

監督：田坂具隆さん

出演：佐久間良子さん、河原崎長一郎さんほか

②15:00～「五瓣の椿」(1964年/松竹/163分)

監督：野村芳太郎さん

出演：岩下志麻さん、田村高広さんほか

ところ 木次経済文化会館チェリヴァホール (2階ホール)

入場料 各日500円、高校生以下無料

※無料託児サービスあり (要申込/1月18日(休)締切)

【問】チェリヴァホール ☎0854-42-1155

第2回加茂町人権セミナー

映画『徘徊～ママリン87歳の夏～』

とき 1月21日(日) 10:00～12:00 (開場9:30)

ところ 加茂文化ホール ラメール (大ホール)

内容 認知症を患い、昼夜なく徘徊する母と、それを見守る娘との二人の生活を追ったドキュメンタリー映画で、認知症とともに暮らすことや、老い、そして人間とは何かを問いかける内容です。

入場料 無料

※託児サービスあり (要申込/1月15日(月)締切)

【問】雲南市人権・同和教育推進協議会加茂支部
(加茂総合センター自治振興課内) ☎0854-49-8601

第31回かきまつり

とき 1月28日(日) 9:30～特産品販売

10:30～カキ販売開始(予定)

ところ 道の駅「掛合の里」前

【問】掛合町ふるさとまつり実行委員会

(掛合総合センター自治振興課内) ☎0854-62-0300



撮影：まつらのりこ
松浦範子

UNNANアートスタート「Baby Space」

親子でパフォーマンスを鑑賞するだけではなく、音楽や照明などを使って、心地よい非日常的な体験ができるベイビーシアター(乳幼児のための舞台芸術)をこの機会にぜひ体験ください。

とき 2月3日(土)

①10:30～ ②14:00～ (2回公演)

ところ 木次経済文化会館チェリヴァホール (3階大会議室)

定員 親子13組 (生後3カ月～1歳半のお子さんと保護者の方) のぞき見席10人

入場料 親子1組3,500円、のぞき見席1,500円

<要予約>1/6(土)から受付開始 (チェリヴァホールへ直接申込)

【問】UNNANアートスタート実行委員会

(チェリヴァホール内) ☎0854-42-1155

●市報うなんん No.158 2018年1月発行

発行・編集/雲南市役所 政策企画部 情報政策課

〒699-1392 雲南市木次町里方521-1 ☎0854-40-1015 FAX 0854-40-1019

✉unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うなんんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

👤 人口・39,305人 (-33人)

♂ 男性・18,899人 (-21人)

♀ 女性・20,406人 (-12人)

🏠 世帯数・13,862世帯 (+28世帯)

平成29年12月1日現在(先月比)